

2020年12月期 第2四半期決算説明会

2020年8月26日

株式会社ナカニシ

2020年12月期第2四半期 連結決算概要	3
2020年12月期 連結業績予想	11
事業環境の変化と当社の施策	14
各事業の概況	21

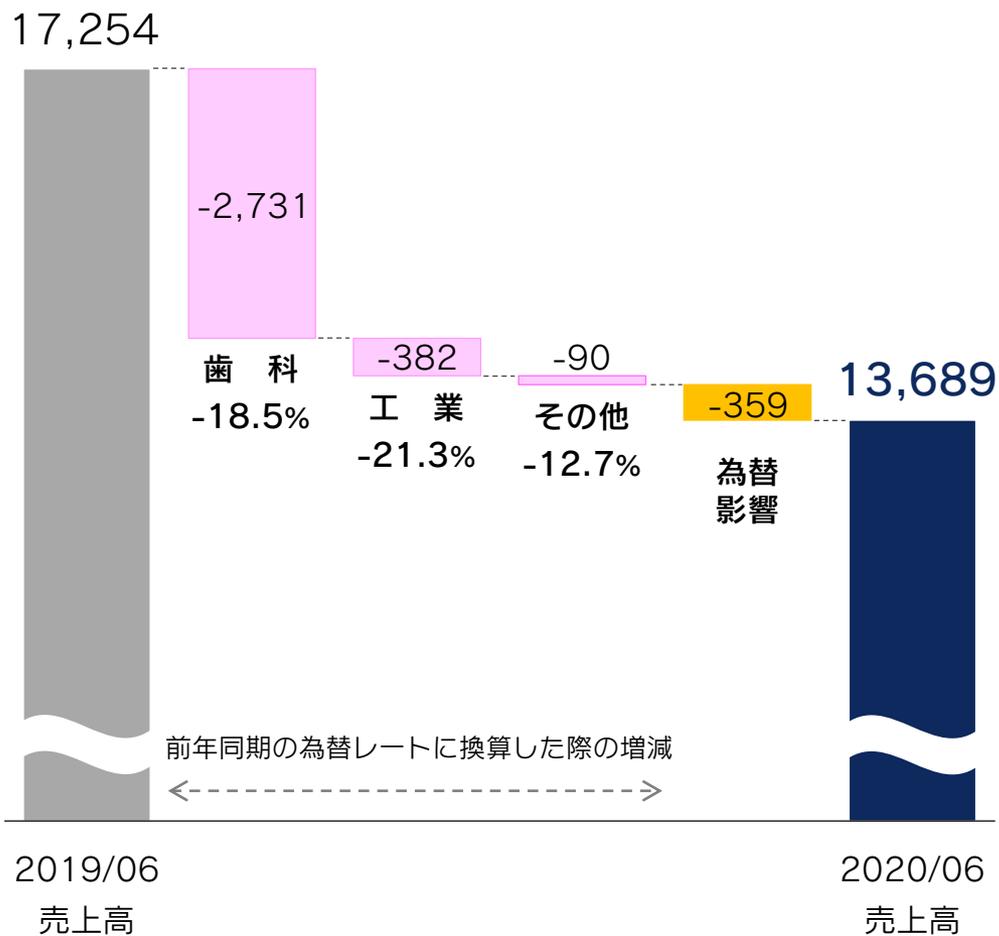
2020年12月期 第2四半期

連結決算概要

百万円		当期実績 2020/06	前年同期 2019/06	前年同期比	当期計画 2020/06	計画比
売上高		13,689	17,254	-20.7 %	—	—
売上総利益		7,846	10,331	-24.1 %	—	—
	利益率	57.3%	59.9%	-2.6 pt		
営業利益		2,392	4,036	-40.7 %	—	—
	利益率	17.5%	23.4%	-5.9 pt		
経常利益		2,490	4,218	-41.0 %	—	—
	利益率	18.2%	24.5%	-6.3 pt		
親会社株主に帰属する 四半期純利益		1,858	3,025	-38.6 %	—	—
	利益率	13.6%	17.5%	-3.9 pt		
E P S	(円)	21.45	34.92	—	—	—
為替レート						
- 米ドル	(円)	108.43	110.12	-1.69	—	—
- ユーロ	(円)	119.85	124.49	-4.64	—	—

- 為替影響額： 売上高 -359百万円（前年同期レート比）， +228百万円（計画レート比）
- 為替感応度： 1円円安による年間売上高の変動 米ドル 43百万円増， ユーロ 59百万円増

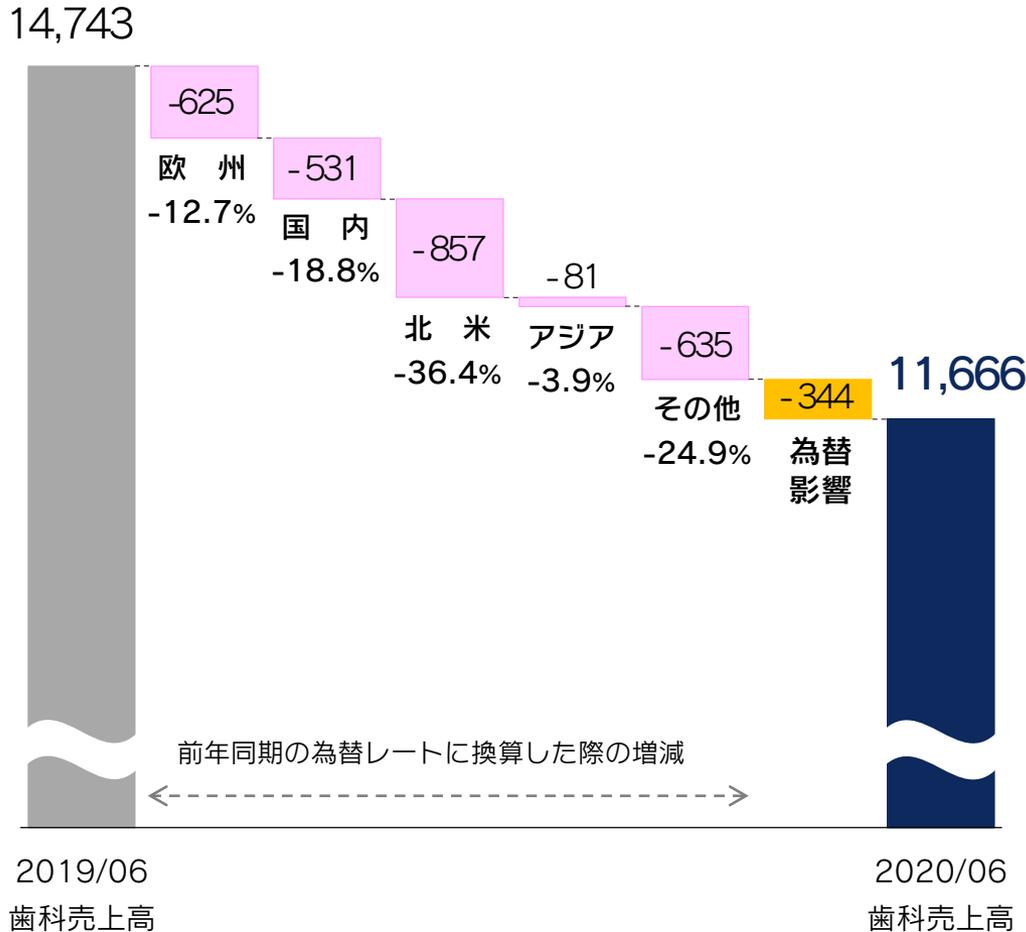
百万円



事業セグメント別連結売上高

	前年同期 2019/06	当期実績 2020/06	増減額
歯科製品関連	14,743	12,011	-2,731
工業製品関連	1,794	1,411	-382
その他	716	625	-90
為替影響	—	-359	-359
合計	17,254	13,689	-3,564

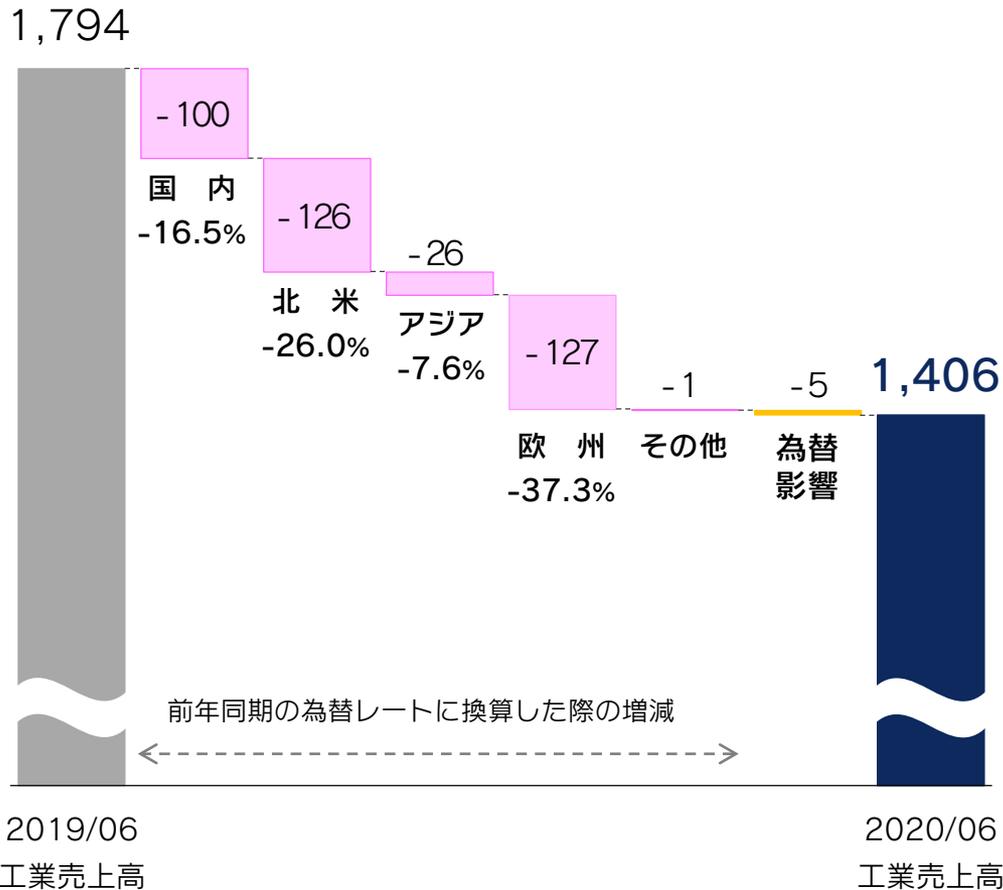
百万円



■ 歯科製品関連・地域別連結売上高

	前年同期 2019/06	当期実績 2020/06	増減額
欧 州	4,901	4,275	-625
国 内	2,828	2,296	-531
北 米	2,354	1,497	-857
ア ジ ア	2,100	2,019	-81
そ の 他	2,558	1,922	-635
為 替 影 響	—	-344	-344
合 計	14,743	11,666	-3,076

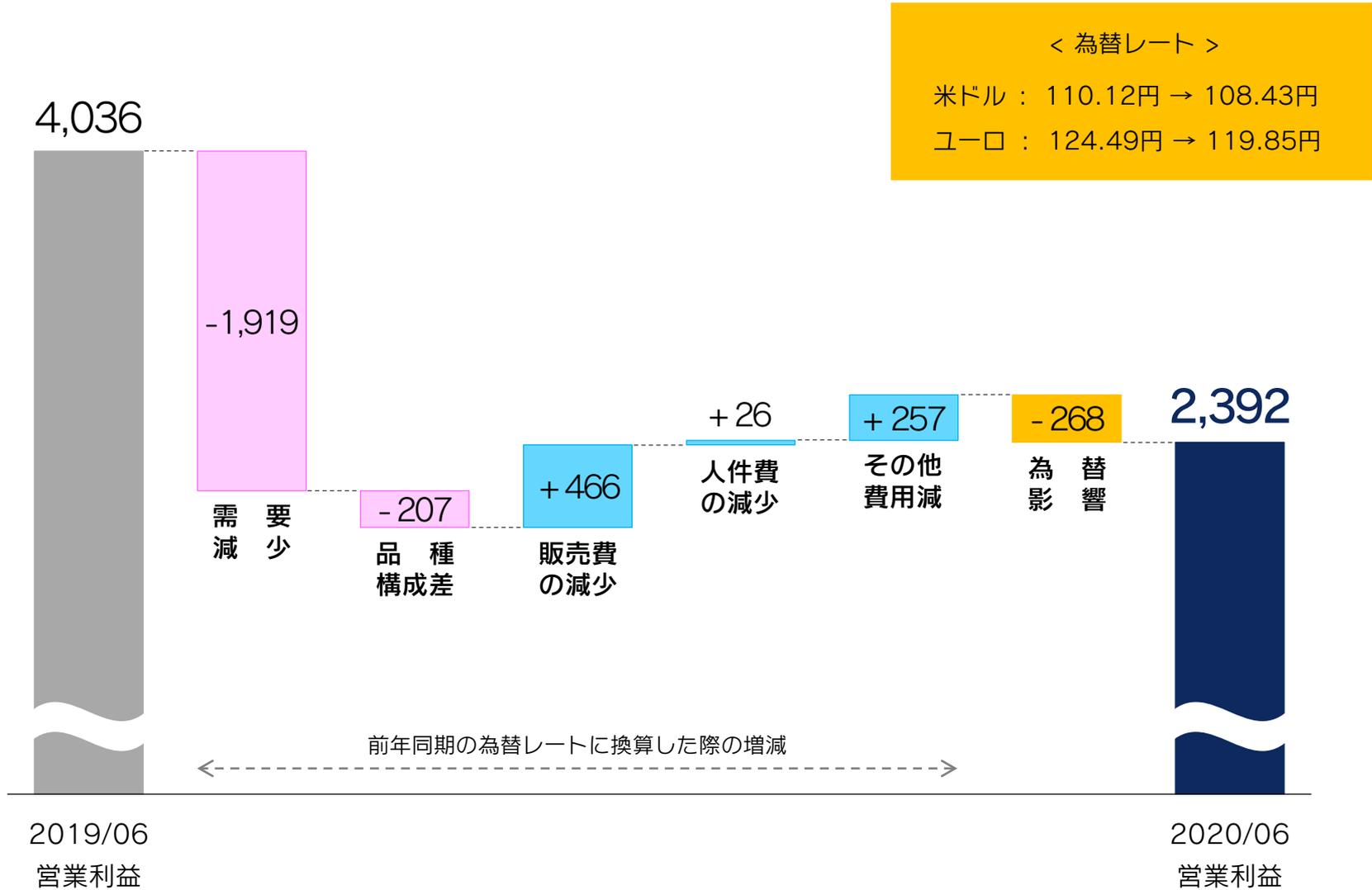
百万円



工業製品関連・地域別連結売上高

	前年同期 2019/06	当期実績 2020/06	増減額
国内	605	505	-100
北米	487	360	-126
アジア	357	330	-26
欧州	342	214	-127
その他	2	0	-1
為替影響	—	-5	-5
合計	1,794	1,406	-388

百万円



百万円	当期末 2020/06	前期末 2019/12	増減額	増減内容
総資産	77,043	77,536	-493	・現金及び預金 +1,051 ・投資有価証券 -644
- 受取手形及び売掛金	4,080	5,184	-1,104	
- 棚卸資産	11,452	10,538	+914	・商品及び製品 +699 ・仕掛品 -150 ・原材料および貯蔵品 +365
負債	4,602	5,037	-435	・繰延税金負債 -206
- 有利子負債	100	100	—	
純資産	72,441	72,499	-57	
- 利益剰余金	74,139	73,666	+472	
自己資本当期純利益率 (ROE)	5.1%	10.2%	-5.1pt	前年同期 (2019/06) : 8.9%
総資産経常利益率 (ROA)	6.4%	13.1%	-6.7pt	前年同期 (2019/06) : 11.5%

	当期実績 2020/06	前年同期 2019/06	増減額	主な内容
設備投資額	611	794	-183	
減価償却費	838	789	+49	

百万円

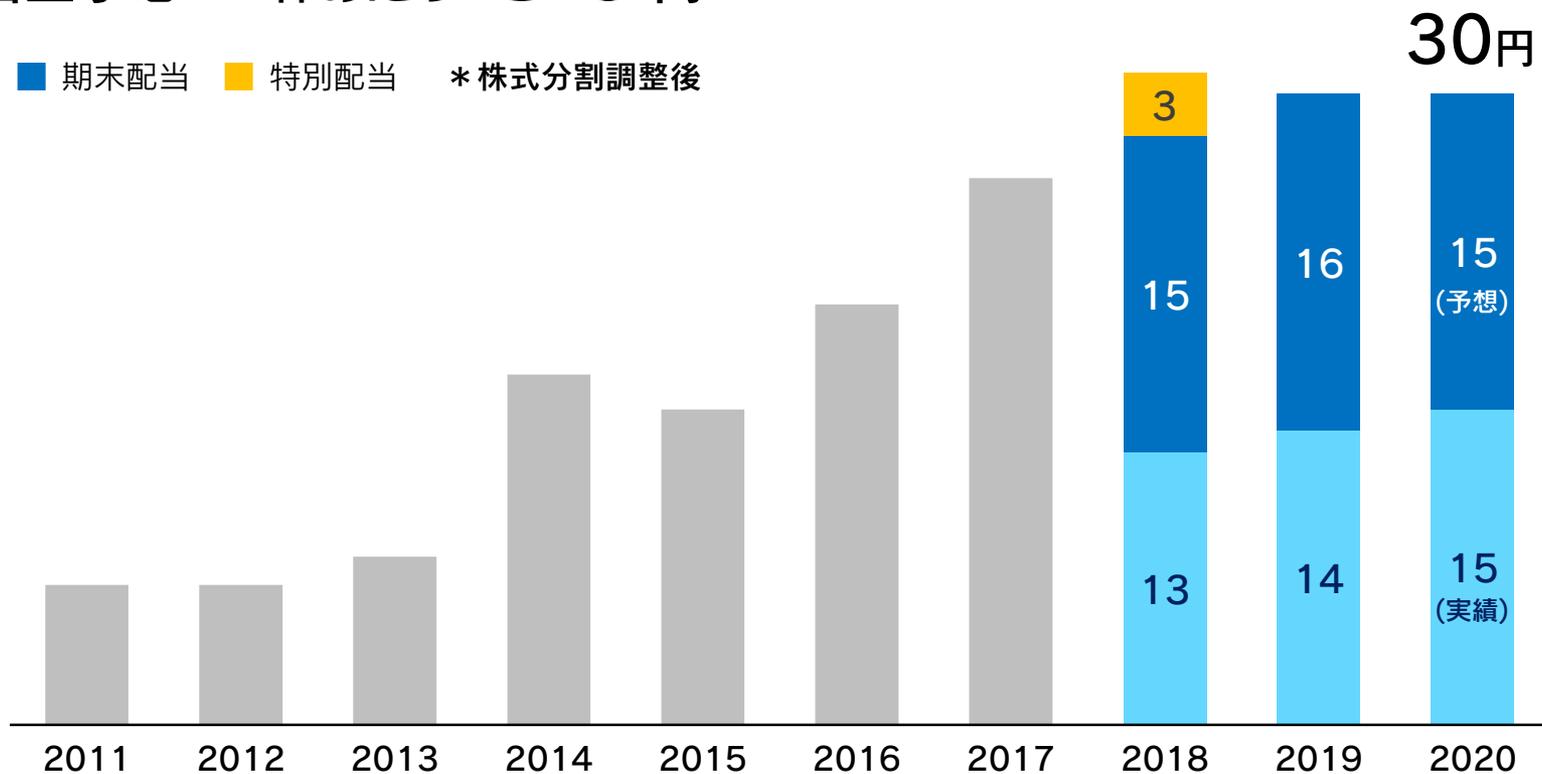
		国内	海外計	欧州	北米	アジア	その他	合計	
歯科製品関連	2019/06 実績	2,828	11,915	4,901	2,354	2,100	2,558	14,743	
	2020/06 実績	2,296	9,370	4,123	1,479	1,944	1,821	11,666	
	前期比	増減額	-531	-2,544	-777	-874	-155	-736	-3,076
	増減率	-18.8%	-21.4%	-15.9%	-37.1%	-7.4%	-28.8%	-20.9%	
工業製品関連	2019/06 実績	605	1,189	342	487	357	2	1,794	
	2020/06 実績	505	901	214	355	330	0	1,406	
	前期比	増減額	-100	-288	-127	-132	-26	-1	-388
	増減率	-16.5%	-24.2%	-37.3%	-27.2%	-7.6%	-54.3%	-21.6%	
その他	2019/06 実績	403	313	93	140	72	6	716	
	2020/06 実績	394	222	64	95	56	5	616	
	前期比	増減額	-8	-90	-29	-44	-16	-1	-99
	増減率	-2.2%	-29.0%	-31.1%	-31.6%	-22.2%	-17.9%	-13.9%	
合計	2019/06 実績	3,837	13,417	5,337	2,982	2,530	2,567	17,254	
	2020/06 実績	3,196	10,493	4,402	1,931	2,331	1,828	13,689	
	前期比	増減額	-641	-2,923	-934	-1,051	-198	-739	-3,564
	増減率	-16.7%	-21.8%	-17.5%	-35.3%	-7.9%	-28.8%	-20.7%	

2020年12月期
連結業績予想

百万円		2020/12 業績予想	2019/12 実 績	増 減	説 明
売 上 高		28,352	35,418	-19.9%	
売上総利益		15,928	21,762	-26.8%	
	利益率	56.2%	61.4%	-5.2pt	
営 業 利 益		4,666	9,299	-49.8%	
	利益率	16.5%	26.3%	-9.8pt	
経 常 利 益		4,920	9,841	-50.0%	
	利益率	17.4%	27.8%	-10.4pt	
親会社株主に帰属する 当期純利益		3,639	7,102	-48.8%	
	利益率	12.8%	20.1%	-7.3pt	
E P S	(円)	42.01	81.97	-39.96	
設 備 投 資		1,840	1,534	+306	
減価償却費		1,880	1,684	+196	
想定為替レート					
- 米ドル	(円)	105.00	109.37	-4.37 (円高)	為替感応度:1円で年間売上高43百万円変動
- ユーロ	(円)	115.00	122.53	-7.53 (円高)	為替感応度:1円で年間売上高59百万円変動

2020年12月期
年間配当金予想 1株あたり **30円**

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 特別配当 * 株式分割調整後



E P S (円)	51.96	48.42	53.61	79.33	71.22	61.15	84.75	87.59	81.97	42.01
配当性向 (%)	12.8	13.8	13.8	14.9	21.0	32.7	30.7	35.4	36.6	71.4

事業環境の変化と当社の施策

新型コロナウイルス感染拡大 に伴う事業環境の変化

1. 当社グループの感染予防の取り組み

お客様および全従業員の安全と健康の確保を最優先にしつつ、事業活動を継続

本社・工場

国内事業所

海外現地法人

感染防止のための基本動作を徹底

マイカー通勤

テレワーク / 時差通勤

テレワーク

域内出張および海外出張を原則禁止

オフラインイベントを中止又は延期

ウェビナー・オンライン会議を活用

当社グループ
従業員の感染状況

国内 0名

海外 1名

* 症状回復し、復帰済み

国内 1,255名 / 海外 309名

雇用形態に関わらず当社グループで働く全ての従業員数（6月末時点）

2. 生産活動の状況

歯科治療機器製造はエッセンシャルビジネスに指定されており、世界各国ロックダウン中も生産活動を継続。当社グループの生産3拠点は、完全停止することなく現在に至る

1月 2月 3月 4月 5月 6月

本社工場・A1工場

生産品目 歯科製品・メディカル製品・機工製品

通常操業

減速操業

NSK Dental Italy

生産品目 蒸気滅菌器（オートクレーブ）

通常操業

減速操業

Integration Diagnostics Sweden

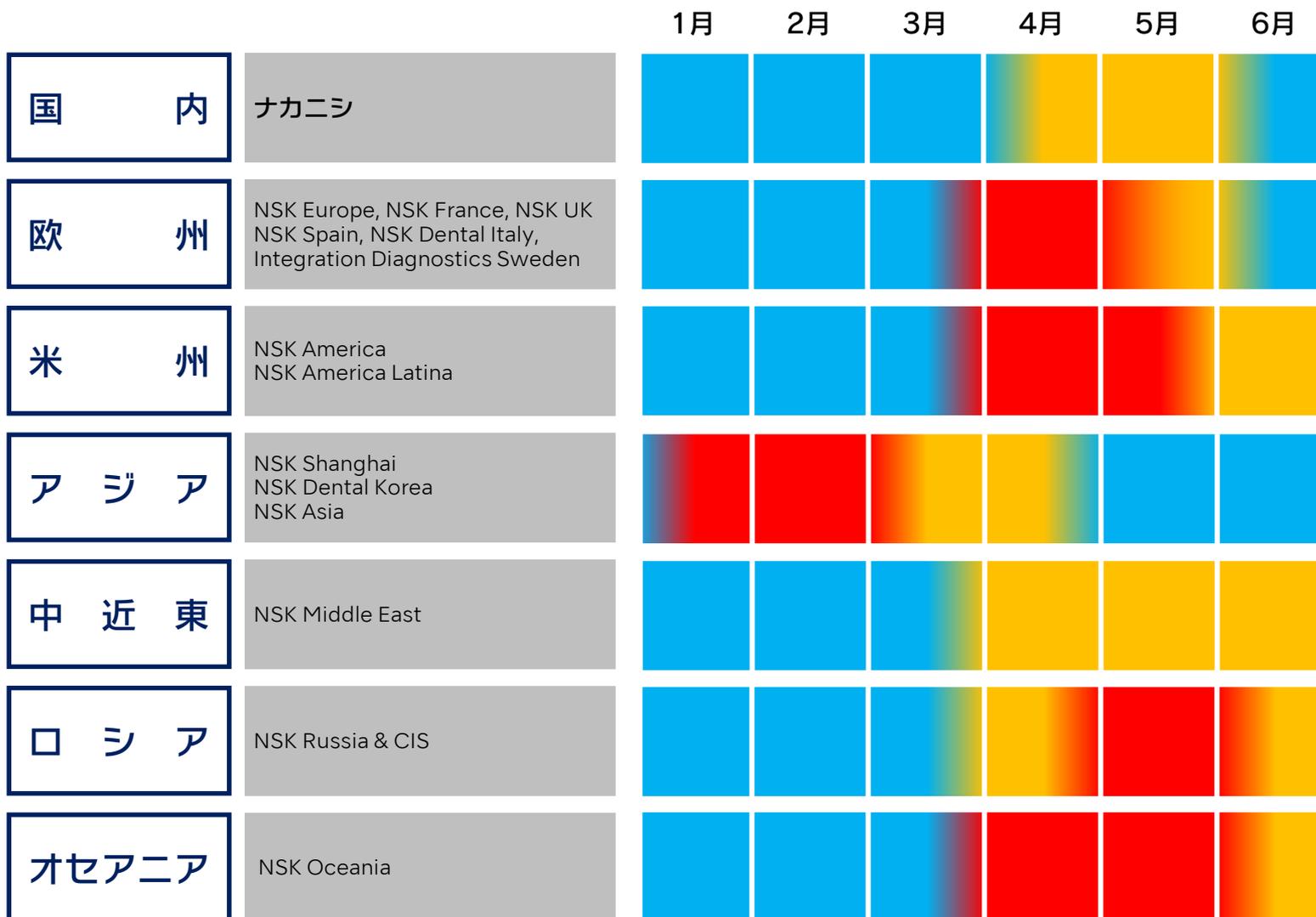
生産品目 インプラント定着度測定器

通常操業

減速操業

3. 販売活動の状況

■ 通常 ■ 減速（リモート主体） ■ 制限（リモートのみ）



グループCEO
と
現地法人社長の
機動的な連携

本社・現法
オンライン
会議を運営

3月に開始
週次開催し
現在も継続

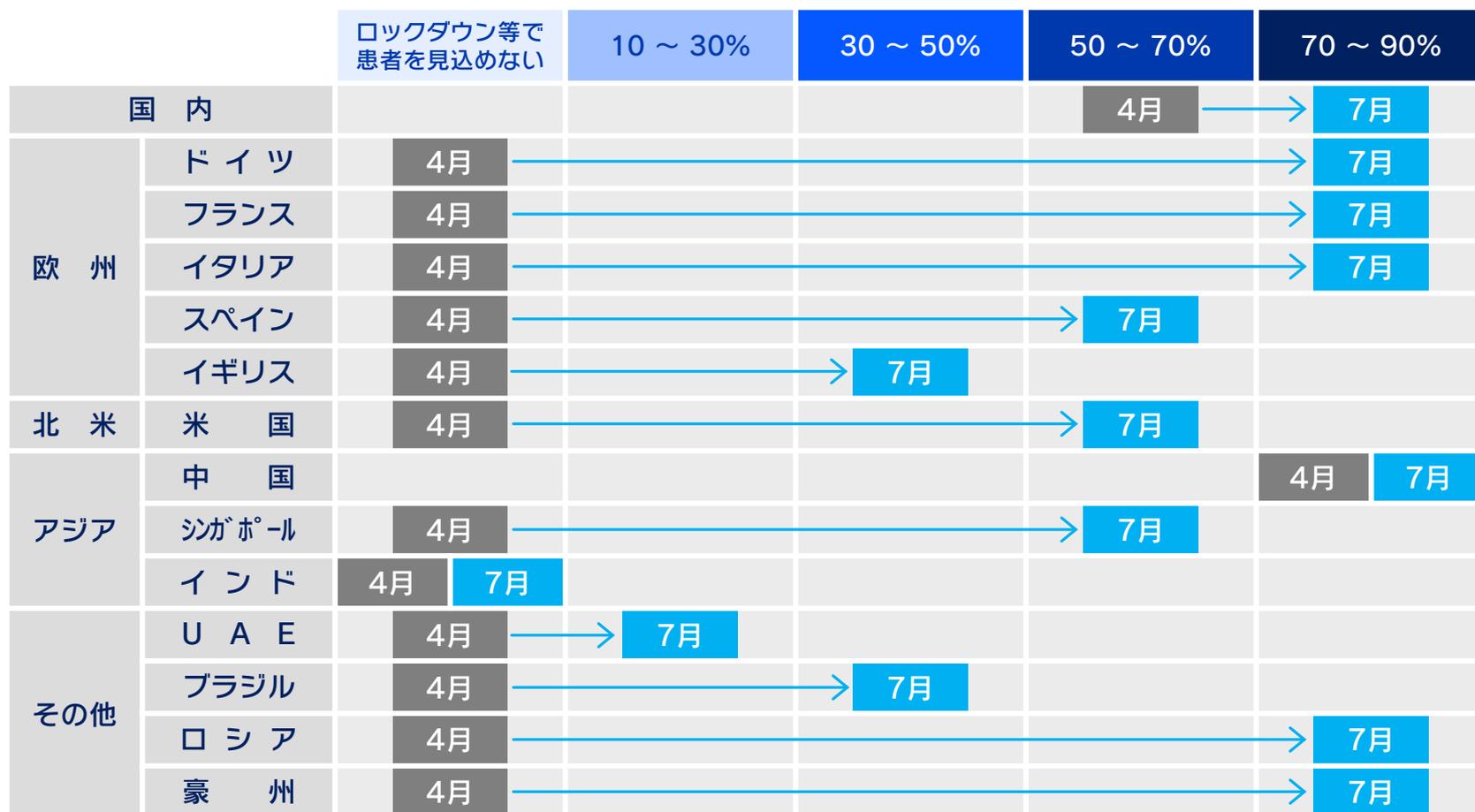
世界各地の
精緻な情報
収集と迅速
な経営判断

4. 歯科医院への患者数の変化

* 当社および各現地法人によるヒアリング調査から推計

世界各都市でロックダウン（都市封鎖）が行われる中、歯科医院の多くが休業
患者数は4～5月がボトムで、地域差あるものの、概ね回復基調に転じている

コロナ禍前と比べた患者数の状況



5. 市場の動向

▶ 市場の状況

世界各地で行われたロックダウンにより、4月はほとんどの歯科医院が休業。歯科関連ビジネスもほぼ停止し、市場規模は一時的に大きく縮小した。しかし、6月以降、各国の回復スピードは異なるが、大きな回復基調にある。

▶ 感染予防ニーズの高まり

歯科医療従事者・患者、双方から「感染予防」への関心が非常に高まってきており、洗浄・消毒・滅菌装置やハンドピースの買い増し需要が高まっている。

各事業の概況

新型コロナウイルス問題によって一時的な市場縮小が起きているが、歯科医療の必要性や当社製品の優位性に何ら変動はなく、従前の重点戦略を遂行し持続的な成長を目指す。

医療機器メーカーとしての攻めと守りの
経営を推進し、安定的事業基盤を堅持

Focus
集中

開発力の増強・深掘り
北米および中国での事業拡大
ITインフラの強化

Enhancement
強化

回転技術・超音波技術の深化・展開
生産キャパシティ拡大・生産性向上
No.1のアフターサービス提供

長年培ってきた「当社の強み」を磨き上げ
お客様に感動を与える製品・サービスを提供

ダントツの
最優良グローバル
医療機器メーカー

上半期の概況

欧州

売上高
41.2億円
 前年同期比
-15.9%

- ロックダウンの影響から4月の販売は低迷
- 5～6月は感染予防対策強化のためハンドピース買い増し需要が発生
- OEMビジネスが低迷

国内

売上高
22.9億円
 前年同期比
-18.8%

- 感染拡大に伴って、歯科医院の患者数自体も減少
 特に、緊急事態宣言発令後は歯科医院の休業や診療制限が続き、販売低調

下半期の施策

- 感染予防対策に焦点を当て、ハンドピースおよび再処理（洗浄・消毒・滅菌）関連製品を販促
- 予防歯科関連製品およびインプラント関連製品の販売を再開
- 政府が感染防止等支援金を拠出することが決定し、これによる需要の高まりを最大限獲得していく
- 上記を除いても感染予防へのニーズは強く、滅菌器を拡販

上半期の概況

北米

売上高

14.7 億円

前年同期比

-37.1%

- ロックダウンの影響から4～5月の販売は低迷
- 市場の回復が遅れる中、セールス&マーケティングチームによる顧客アプローチが奏功し、自社ブランドのシェアが拡大

アジア

売上高

19.4 億円

前年同期比

-7.4%

- 中国では、1月から現地法人の直販開始。市場全体よりも早く自社ブランドの販売回復
- その他アジア地域は感染拡大の影響が徐々に増大し、販売低調

下半期の施策

- エアータービンから電気モータへの需要のシフトを最大限取り込む
- 自社ブランド製品の拡販
- 中国では、現法体制強化と代理店スタッフ教育に努め、ハンドピースやインプラント関連を拡販
- 南アジアでは感染拡大が続いており、年内の市況回復は困難と想定

上半期の概況

下半期の施策

その他の地域

売上高
18.2 億円

前年同期比
-28.8%

中近東

- 域内の感染拡大は徐々に強まり、4月以降は大きく影響を受け、販売低調

- 移動制限が続く中、引き続きオンライン・マーケティングに注力

南米

- 感染拡大に歯止めがかからず、市況の悪化が顕著販売も大幅減

- 南米では感染拡大が続いており、年内の市況回復は困難と想定

ロシア

- ロックダウンにより販売は大幅減

- ロックダウンの解除後に発生したリバウンド需要を最大限取り込む

豪州

- ロックダウンの解除後に若干ながら需要回復

- ロックダウン再開の影響が出るものの、感染予防対策製品を販促

新型コロナウイルス問題の影響は大きく、当面は需要停滞が続く

2020年上半期・概況

従前からの米中貿易摩擦問題にコロナ禍が重なり、需要後退が顕著に

- 国内市場では、設備投資案件の凍結や延期等、買い控えが顕著に
- 中国市場も厳しいものの、5G関連投資あり。自動化ニーズも継続
- 欧州では6月から活動再開、米国では販売店トレーニングに注力

2020年下半期・施策

当面は厳しい市況感が続くものと想定

- 生産性向上に寄与する「生産の自動化・省力化」や「IoT化」ニーズに焦点を当て、アプリケーション事例を訴求（水平展開・深耕）
- 新製品「NR-33-6000ATC-ESD」「シーナスZERO」をテコに需要の掘り起こしを図る

静電気帯電防止スピンドル NR33-6000ATC-ESD



静電気帯電防止スピンドル

NR33-6000ATC-ESD

7/1発売

スピンドルの先端部分に通電素材を採用した静電気の帯電防止を実現したスピンドル

あらゆる電子機器に搭載されるプリント基板の製造工程(基板分割)に活用することで加工時の静電気による基板破損を防止。歩留まり改善に貢献。5G関連で需要増が見込まれる微細プリント基板製造分野への導入を見込む

超音波研磨装置 Sheenus ZERO



超音波研磨装置

シーナスZERO

8/21発売

好評を博した「シーナスneo」の後継機従来品に比べ、省エネ、軽量化を実現先進的デザインを採用し、操作性も向上

アルミ金型や超硬金型、各種金型の研削から研磨、鏡面仕上げまでをカバー。金型制作でも難しいエッジ加工工程で活躍が見込まれる

新型コロナウイルスの影響で手術数が減少し、販売は低調

2020年上半期・概況

- 日本：コロナ禍で市況は悪化しているものの、新製品による需要喚起で販売を下支え
- 欧州：イタリアは低調だったものの、ドイツで大型案件を受注し、二桁増収を達成
- 北米：コロナ禍の影響を大きく受けており、Primado2ユニット・消耗品ともに低調
- アジア：中国市場は回復しつつあるものの、韓国や東南アジア諸国の販売が低調

2020年下半期・施策

- 日本：新製品「P300アタッチメントシリーズ」の拡販に注力
- 欧州：新製品を起点に代理店連携を強化、新規の大型案件の獲得に注力
- 北米：レンタルスキームによってユニット本体の導入を推進。消耗品ビジネス拡大を図る
- アジア：新規代理店獲得でインド市場を開拓。回復しつつある中国市場の需要を取り込む

本資料に記載されている情報には将来の業績に関する見通しが含まれています。これら見通しには不確定要素が含まれており、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は、世界経済の変化や為替相場の変動等により、予想数値とは異なる場合があります。

